

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議 取組基本方針

令和元年10月8日

改正：令和2年8月27日

改正：令和3年9月3日

改正：令和4年8月19日

改正：令和5年9月6日

1 はじめに

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議は、平成28年9月7日に、千葉県内の政労使や金融機関等9団体が集って設置された。同月26日には「ちば『働き方改革』共同宣言を行い、働きやすさと働きがいのある雇用環境の実現に向けてオール千葉で取り組んでいくことを明確に示すとともに、平成29年11月には、この共同宣言に基づく具体的な行動案を採択し、企業において取り組むことが期待される事項を示すなど、千葉県内の働き方改革の推進を牽引してきた。

その間、政府においては、平成29年3月に「働き方改革実行計画」を策定し、平成30年6月には「働き方改革関連法」が成立するなど、働く方々の個々の事情に応じた多様な働き方が選択できる社会の実現に向けた枠組みが整ったところである。また、働き方改革の意義や国の施策の基本事項等について定める「労働施策基本方針」が策定されるとともに、国は中小企業の取組を支援するため協議会を設置することとされた。

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議は、平成30年10月9日に構成員数を18団体とするとともに、労働施策総合推進法第10条の3に基づく協議会を兼ねることとなった。令和3年9月3日には、構成員数を21団体とし、更なる連携体制の強化を図った。

働き方改革の推進に当たっては、千葉県の実情、特に全国と比較して女性の有業率¹や管理的職業従事者²に占める割合が低く、非正規雇用割合が高い（注1）実態にあることなどに留意した取組が求められる。

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議は、県内津々浦々に「働き方改革」を発信し、多様で柔軟な働き方を選択できる社会の実現を通じて、企業の人材確保と生産性向上を推進するため、以下により取組を進めることとする。

注1）非正規雇用労働者（派遣労働者、パート・アルバイト等）の割合は39.7%（全国38.2%）となっている³。

¹ 平成29年就業構造基本調査 61.1%（全国64.4%）

² 平成29年就業構造基本調査 13.3%（全国14.8%）

³ 平成29年就業構造基本調査 第8-1表

2 ちばの魅力ある職場づくり公労使会議の目的と役割

(1) 基本的考え方

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議は、千葉県における雇用の質の向上を図るとともに、これを地方創生や県内経済の好循環にもつなげるため、働き方改革による仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）、非正規雇用労働者の処遇改善及び職場における女性の活躍等の推進に向けて、国、県、労使団体及び金融機関の関係者が情報共有や意見交換を行うことにより、必要な取組を連携して実施することを目的とする。働き方改革を中小企業・小規模事業者等に対し、円滑に浸透させるためには、構成団体が連携して周知啓発、支援していくことが非常に効果的であると考えられることから、横断的に情報を共有し、事業連携を進めるものである。

(2) 連携の進め方

毎年度、本方針に基づく「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議実行計画」を作成し、毎年度第1回目に開催されるちばの魅力ある職場づくり公労使会議において確定する。

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議の構成団体は、各構成団体の持つチャンネルや強みを生かしつつ、本方針の「3 取組事項」で示す各事項について可能な限り連携（広報含む）し、実行計画に反映した上で実施するものとする。

(3) 働き方改革に取り組む中小企業・小規模事業者等に対する支援等

働き方改革に取り組む企業への支援等の実施にあたっては、特に中小企業・小規模事業者等への浸透に留意しつつ、労働施策総合推進法第10条の3に定める協議会として連携を図ることとする。

(4) 業種等の特性に応じた対策等

千葉県内の特性（少子高齢化、東京隣接県、インバウンド等）を踏まえ、業種等に特化した対策についても検討する。

3 取組事項

構成団体は、毎年度千葉県と千葉労働局との間で策定する「千葉県雇用対策協定に基づく事業計画」に定める事項及びその他本会議で取り組むことが効果的と考えられる事項から実施事項を設定し、構成団体間で連携を図りつつ、主体的に実施する。